

広報 新潟水協

平成30年 4月22日
新潟水泳協会
関屋大川前 1-3-31-7
石見 鉄夫
TEL・FAX (025) 265-7481

共立印刷株式会社

競技者(選手)を育てる、ということ

会長 石川 志郎



平成29年度は、水泳界から5名のジュニア優秀競技者が新潟市体育協会から表彰された。毎年、競泳は受賞しているが5名もの多数が受賞するのは久しぶりであり、協会としても関係の皆さんに感謝申し上げるしだいである。

ところで、新潟水泳協会にはHS部という専門部がある。障害を持つ人たちのための競泳部門である。この部門のコーチが関係するチーム(WSN)の所属選手で山田美幸さんという小学生がいる。重度の障害があるため、最初は「水に浮く」程度だったのが、練習を続ける中で、1、2年でこのクラスで全国大会トップの記録を出すようになったのである。もちろん目指すは、東京パラリンピックである。先般、亀田で行われた水泳記録会での泳ぎを見て、瞠目してしまった。タイムを短縮しているのはもちろんだが、泳ぎに余裕があり「風格」を感じさせるような泳ぎであった。身体全体を使って「身体のうねり」で前進する自由形である。感動すら覚えるような泳ぎであった。コーチの熱心でたゆむことの無い指導と本人の負けん気の強さ、コーチへの信頼、家族の支えが功を奏したのだろうと、勝

手に思ったしだいである。

また、体育協会から表彰されたうちの一人、蓮野巧人さんは、協会の競泳強化部で強化練習を行っており、日本知的障害者水泳連盟25メートル自由形日本記録保持者でもある。彼は、昨年12月アジアユースパラ競技大会(ドバイ)で日本代表として参加し、100メートル平泳ぎで銅メダルを獲得するなど、これから競技者としてがんばろうとする子ども達へ限りない希望を与えられる存在でもある。

この二人の選手の成長から「競技者を育てる大切な視点」を学んだような気がするのである。

「合理的配慮」という言葉がある。

この持つ意味は、「障害者の方が健常者と平等に人権を享受し、行使できるように一人一人の特徴に合わせて、場面に応じて発生する障害・困難さを取り除くための個別の調整や変更のこと」(文部科学省)である。

競技者を育てるための前提になるのは、「合理的配慮」の観点である。この二人の選手の養成に関わった協会のコーチ・スタッフの方々に感謝するとともに今後もこのような姿勢で取り組んでくださることを期待し、協会全体として支えていきたいと思っている。



新潟の空から、東京の空に夢乗せて

(公財)公認 上級障がい者スポーツ指導員 野田 文江

2013年10月1日 (公財)日本障がい者水泳協会(身体・知的・聴覚)設立一本化

2014年2月13日 (公財)日本水泳連盟に加盟

評議員 桜井 誠一

理事 河合 純一(パラリンピック金メダリスト)

障がい者スポーツの将来像のためにJPSA(公益社団法人日本障がい者スポーツ協会)とJPC(日本パラリンピック委員会)の取り組みが以下のように進められている。

Action Plan

1 スポーツ施策の一元化

スポーツは、障がい者、年齢、性別などによって区別されるものではなく、スポーツの中に障がい者が参加するものがあるとのこと観点からスポーツ施策の一元化について、関係機関に働きかける。

2 障がい者スポーツの振興体制の整備

関係団体との連携を深め、日本を代表し統括するJPSDを中心とした障がい者スポーツ振興体制を構築する。

3 障害者スポーツ普及・振興

全国障害者スポーツ大会を含めたイベント等を通じて、障がい者スポーツにさんかするきっかけを作るとともに、ハード・ソフト両面で障がい者スポーツに対する理解を深め障がい者が日常的にスポーツを行う環境を整備する。

4 国際競技力

パラリンピックをはじめとする国際大会での成績向上、障がい者における国際的な日本の地位向上及び国内での障がい者スポーツ・パラリンピックの評価向上を目指す。

5 障がい者スポーツの国民理解の促進

障がい者スポーツの理解推進及び普及発展に不可欠な情報の発信と共有化への取り組みに向け、専門の事業者も含めた検討を行い、計画的な広報事業を推進する。

6 障がい者スポーツの支援体制の充実

オフィシャルパートナーシップの他に、企業及び個人が障がい者スポーツの支援に参加できるプログラムを推進する。

7 財政基盤の充実・安定化

全ての活動に通じる資金獲得について、現状の財政を洗い出し、多方面からの支援・協力をえながら財政基盤を安定させるとともに計画的な予算執行を推進する。

8 協会の組織体制の強化

活動の基盤となるJPSAの組織体制について、役員・職員・委員会等の各役割を見直し、効果的に目的達成する為の体制を構築する。

NO1～NO8に基きWSN(Will Speed Niigata)では、育成・強化が行われている。

●登録

障がい者選手は地区(関東障がい者水泳連盟に登録をしなければならない。自動的に日本障がい者水泳連盟に登録される。)

●クラス分け

選手は医学的クラス分けステイタス(St)を受けなければならない。

① クラス分けの内容

肢体不自由(S-1～S10)

ベンチテスト 医師・理学療法士による可動域(伸・縮・内転・外転筋等)の角度を見る・水中テスト

② 視覚障害(S-11～S13)

専門医療の診断書提出。本人と専門クラス分け委員と面談・ゴーグルの確認

③ 知的障害(S-14)

専門医療の診断書提出。本人と専門クラス分け委員と面談

④ 聴覚障害(S-15)

専門医療の診断書提出。本人と専門クラス分け委員と面談。パラには参加しない。国際大会デフリンピック競技大会を定期的に開催

⑤ クラスオーバー(21)

軽度の身体障がい。JPまでの参加

①～⑤者は障害者手帳を有する

*精神障害者は含まれない

参考資料(公財)日本障害者スポーツ協会 HP から

◎**山田美幸紹介** 11歳小学5年生(平成30年3月現在)
クラス3(JR2018年にJPCクラス分けを受けなければならない)



【目標種目】

- 100mF(パラ育成S 標準タイムを29年11月、全日本選手権で50mクリア)
- 50mFr(パラ育成S 標準タイム30年サンアップル水泳大会)
- 50mBk(200mFrを得意としていたが、今年、1月にIPCで、女子200m無し、但し暫定的)大嫌いなBk、本格的トレーニング中)

【目標タイム】

- 50mBk 1:25.73
- 本格的練習開始タイム(2月15日)2:03.25
- 現在(3月4日)1:36.30

【トレーニングメニュー】

1. 忍者ごっこ・水中ゴルフ・シュノーケル・大根脚リング回し・投げ落とす(重量に対し浮力・抵抗・水圧・水温・知る)
2. 美幸の良いところつけ
3. 美幸の心身状態で変更多々ある

山田美幸の平成30年度 競技大会

2017年度 静岡欠場

5月27日	全障スポ予選大会 OP	西海岸プール
6月17日	関東身障がい者水泳選手権大会(地区大会)	埼玉県障がい者交流センター
9月23~24日	2018 ジャパンパラ水泳競技大会(知的選手が地区大会で29'30切って参加)	横浜国際プール(長水路)
12月1~2日	第35回日本パラ水泳選手権大会(知的選手が地区大会で29'30切って参加)	鈴鹿スポーツの杜(長水路)
2019年2月24日	2019年水泳録会	新潟県障害者交流センター
2019年3月2~3日	2018年度日本パラ水泳春季記録会(知的選手が地区大会で29'30切って参加)	静岡県富士水泳場
3月	第19回サンアップル水泳大会	長野県障がい者福祉センター

●野田のつぶやき

大会参加の度にタイムが速くなる。野田を泣かす。聡明で元気でどんな事でも挑戦する。

水深3m跳び込み台からスタートする。

「怖い」「怖くない、3mの深さは野田は助けられない?はい、浮力は何に対して起きる」「わかった、浮くって事か」ドボウン。美幸、神の子・不思議の子WSNの選手は岡野先生の指導の基で成果を出しています。3月4日サンアップル大会で会員全員参加で身体100mFrリレー1位、知的2位で2017年無事終了しました。

わたしの夢

Will Speed Niigata 山田 美幸

わたしは、最初、体をじょうぶにするために、水泳を始めました。やっているうちに、だんだん泳げるようになっていきました。そして、たくさん泳げるようになりました。また、泳ぐことが、楽しくなりました。そして、小学1年生から、WSNに入りました。それから、れんしゅうをして、タイムをちぢめていって、大会にも出られるようになりました。そして、ジャパンパラリンピックに出て、金メダルを、もらえました。

「キラキラなあ。これが金メダルかあ。もらえてうれしいなあ。」

と、最初の金メダルをもらった気もちでした。とっても、うれしかったです。

わたしは、最初にクロールを泳げるようになりました。その次に、せおよぎを泳げるようになって、今では、バタフライと平泳ぎも泳げるようになりました。

水泳をやっていた中で一番びっくりしたのは、電車に、たくさんのおすもうさんが、いたことです。新潟県出身力士に会えて、うれしかったです。

これからの目標は、「目指せ!東京2020 新潟から、東京へ羽ばたけ。」です。



2017 ドバイアジアユース大会に出場して

新潟水泳協会 蓮野 巧人
 コーチ 小塚 忠昭

2017年12月10日からアラブ首長国連邦(UAE)のドバイで開かれたアジアユースパラ競技大会に出場してきました。

日本代表に選ばれて、初めて代表全員で集合した時はとても緊張しました。『JAPAN』の文字が入った水着やジャージが届いたときはとても嬉しかったです。また、代表として頑張ってくださいとも思いました。日本代表で集合したときにはぜひメダルを取ってきてほしいとも言われました。



した。食べ物はなかなか口に合うものが少なく、体重が減ってしまい、海外の大会では何でも食べることができないといけなかったと思います。



会場のプールに着くと色々な国の選手がいて、色々な国の言葉が飛び交っていました。応援の仕方も国によって様々でした。プールはとてもきれいでしたがライトの光が強くまぶしかったです。アッププールがなくて、メインプールがアッププールも兼ねていたので、十分にアップをすることができませんでした。また、海外のレースでは日本と違うことがたくさんありました。例えばプログラムは当日に配布されるので、レースの詳しい時間が分からなかったり、アッププールが十分でなかったりということです。また休憩場所もスタンドしかなく、自分で見付けなければならなかったです。

レースは200m自由形と100m平泳ぎに出場しました。200m自由形では直前のアップが十分にできず、ベストも出なくて5位入賞に終わりとても悔しく、涙も出てきました。その後の100m平泳ぎでは、気持ちを切り換えて臨むことができ、ラストでイランの選手を抜き3位に入賞することができ銅メダルをもらう事ができました。



日本代表の合宿では普段通り取り組むことができました。そして、大会が近づくにつれて、絶対にベストを出してしようという気持ちが高まってきました。

ドバイまでは12時間かかりましたが、飛行機の中ではよく眠ることができました。

ドバイに近付くと、砂漠が広がっていて、見たことのない景色でした。気温は思っていたほど暑くはなかったです。町の中は高いビルが多くて近未来的な感じがしま



この1年で新水協の所属になり日本代表に選ばれることもできましたし、日本記録を出すこともできました。普段の練習でもみんなで声を掛け合って頑張っています。大会ではみんなで応援もできています。

これからもベストを更新し、もっと海外の大会に出場できるように頑張っていこうと思います。

私と水泳

中島 和好

いつの間にか今年、傘寿を迎える。今日も、こうしてプールに通って水泳を楽しめるのも、その道の先輩・友人・知人のお陰様と感謝の日々です。40年近く水に親しみ、リタイア後の趣味といえるようになったのは、現役時に煩った腰痛によるもので、仕事柄、年に何回か腰痛に悩まされ、整形外科に行った際、先生から「君が昔やった野球は、メンバーが揃わないとやれないが、水泳は一人で、年間を通して、都合のいい時にやれるから腰痛のリハビリに最適」と言われた。子供の頃、兄達の影響で三角ベース野球漬けの毎日、中学・高校・社会に出てからもチームの投手でした。その頃、今では考えられないですが、野球選手、とりわけ投手が肩を冷やすことは御法度。ですから夏でも寝る時には長袖を着て、肩、ヒジを冷やさないようにした。そんなことで水泳は苦手のスポーツでした。それでも腰痛再発防止の為、休日には鳥屋野プールに通って、ゆっくり少しずつ水に馴染んだ。当初、1000メートル前後を年数をかけて泳いでいるうちに、暫くしたら、なんとか1500メートルを泳げるまでになった。時々、プールで顔を合わせていた。当時チーム「にいがた」代表で、今は亡き真野利為さんに「マスターズに入会しないか」とお誘いを受け、61歳の時に入会した。たまたま61歳の時、腕試しのつもりで出場した市民水泳大会、50メートルフリーで、2位となり賞状を



手にした。それが「やみつき」となり、次はマスターズでのメダルを、とと思って練習に熱が入った。そんな折、素晴らしい先輩（鉄人K氏）にめぐり合った。彼に時々練習をつけてもらうようになって、タイムが良くなり、スタミナもつき、泳ぐことが楽しくなった。その後、週に2、3回のペースで練習をつけてもらい、共にマスターズ大会に出場し、なにかしかの成果を上げうるまでになった。そんな中でもリハビリの為に1500メートルの練習も欠かさず続けていた。マスターズ会報を通して、長距離大会のあることを知り、71歳・75歳の時、自分のレベルを確かめる為、町田大会に出場した。この大会に出るキッカケになったのは、かつて「にいがた」の仲間（M・K女史）の一言でした。「1500メートルを35分もかかっているようではダメ!! あんたの歳なら30分を切らねば」。以来、それからの練習にタイムを意識してやった結果、30分前後で泳げるまでになった。町田大会の二度の出場では30分を切ったものの入賞に至らず。次の80歳区分に夢をつなげた。そうは言うものの歳が歳だけに、日々体調管理に努めているけれど筋力の衰えからか、身体の調子がいまいち。これからは無理せず、あせらず、10月末の1500メートル出場が正夢となることを念じて、練習に励んでいる今日この頃です。水泳のお陰で、今日の健康な自分の姿があるのは、記述の三氏をはじめ、それ以外の多くの方々からも、ご指導を賜りました。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

今年の抱負

◆ダッシュ新津 加藤 吉浩

僕の今年の目標は、2つあります。

1つ目は、夏のジュニアオリンピックで50と100mの自由形を優勝し、2冠をする事と、50mのバタフライでメダルを取る事です。僕は小学5年生の夏、初めてジュニアオリンピックに出場しました。そして50m自由形で優勝することができました。優勝したときの、うれしさは今でも忘れられません。なので、今年も専門種目の意地をかけて、50と100mに挑戦します。また、50mバタフライにも出場します。スプリント大会から手応えを感じている種目でもあるので、メダルをねらっていきたいです。

2つ目は、オーストラリアのクイーンズランド遠征に参加することです。僕は日本スイミ

ングクラブ協会から選抜をうけて参加する予定だったけど、11才で参加できませんでした。そのときのくやしさはいまでも忘れていません。しかし僕はこの遠征に行かなくてよかったと思います。理由は、もし行っていたら「世界ってこんなに簡単に行けるんだ。」と、勘違いしてしまい、気がゆるんでしまうからです。そしてタイムが速くならなくなってしまうと思いました。

このようなことから、今年の目標は2つです。4月から中学生なので勉強も難しくなりますが、しっかり両立して行ってさらに目標を達成できるように、努力していきたいです。

◆新潟水泳協会 杉本 妃鞠

私は昨年、多くの種目で活躍できるようにいろんな種目にチャレンジしました。その結果自由形とバタフライで合わせて6個の県学童新を出すことができました。

そして夏に行われたNSTの大会では100mバタフライと200m自由形に出場し両方県学童新を出すことができました。しかし、BSN大会では思うようなタイムが出せなかったり、JOでは予選10位で決勝に進めず悔しかったので来年は決勝に残りたいと思いました。

私の今年の目標は、県大会で優勝し1年生から全中に出場することです。そのために、ふだんの練習から今以上にがんばりたいです。特に

持久系の練習や苦手なスピードの練習、スタート、ターンの強化をしていきたいです。そして中学生になったらリレーをくむのでリレーでも優勝できるようにもっと練習をがんばって優勝に貢献できるようにしたいです。

私は4月から中学生になり今より勉強との両立が難しくなると思うけれどしっかりと両立できるようにしたいです。そして、いつも支えてくれる家族、指導してくれているコーチに感謝したいです。



平成29年度 総務部事業報告

事務局 石見鉄夫

◎総会

平成29年度総会（H29. 4. 23）ラマダホテル

1. 各部の報告と事業予定承認
2. 平成28年度決算及び29年度予算承認
3. その他
 - ・県水連競技医委員会報告
4. 懇親会

◎理事会

第1回理事会（H29. 3月）西海岸プール

- (1) 各部の事業報告
- (2) 予算、決算
- (3) その他

◎大会関係（主催の大会）

1. 新潟市年齢別選手権（H29. 8. 27）・参加選手チーム及び個人合計 497名

例年同様、男女年齢別（8歳以下A～84歳Rまで5歳きざみ）で種目別、個人対抗及びリレーはチーム対抗で競技を行い、順位を決定した。参加人数は、高校生以下291名、大人206名、合計497名となった。申込段階での問題等もなく、円滑な競技運営が行われた。

競泳競技の合間に、シンクロ部によるエキシビジョン演技が行われた。育成選手や中学生のデュエットが練習の成果を発揮し、スタンドから大きな拍手がわき起こった。

大会当日は高温であったが、屋内プールが休憩場所として開放されていたので、選手・応援保護者とも適宜利用し、大会運営上問題は生じなかった。大会は大いに盛り上がり、例年通り、夏を締めくくるよい大会となった。

2. 新水協親善公認記録会（H29.11.20）参加選手529名

今年度も昨年より41名増加し、529名という参加人数であった。機械トラブルもなく、選手優先の、時間にゆとりのある大会運営であった。その結果、大会新記録も多数樹立されるすばらしい会となった。

平成30年度の当協会の主催・共催・主管する水泳競技大会（会場は全て西海岸公園プール）

大会	日時	主催
マスターズフェスティバル	4月15日(日)	スイミングクラブ協会
新潟県障害者水泳大会	5月27日(日)	障害者スポーツ協会
新潟県小学生室内選手権	6月10日(日)	県水連
第32回 NST 新潟県小学校選手権水泳大会	7月15日(日)	県水連
新潟市年齢別選手権水泳競技大会	8月26日(日)	新潟市、新潟水泳協会
新水協親善公認記録会	11月23日(金)	新潟水泳協会
JSCA 新年フェスティバル	1月13日(日) 14日(月)	スイミングクラブ協会
JOC 新潟県予選会	2月2日(土) 2月3日(日)	県水連

SC部29年の活動報告と今後の課題

SC部 松木 保

◎平成29年度の活動

1) 競技会

期日	競技会名	会場
4月2日(日)	第66回 BC 級大会	アクシーひがし
4月16日(日)	第23回マスターズフェスティバル	西海岸プール
5月21日(日)	第28回クラブ対抗大会	柏崎アクアパーク
6月25日(日)	第42回信越 AG 大会	柏崎アクアパーク
7月2日(日)	第60回 A 級大会 第5回 A 級チャレンジミート	DP プール
11月5日(日)	第67回 BC 級大会	JSS ジャンボ
1月7日(日) ・8日(月)	第44回新年フェスティバル	西海岸プール
2月25日(日)	第6回チャンピオンシップ	DP プール

2) 水中介護予防事業・研修会

期日	名称	会場
10月1日(日)	研修会 「発達障害について学ぶ」 講師：白新中学校教諭 栗原靖明氏	アクシーひがし

元小学校教諭の三沢博敬先生は、毎年関屋浜で子供たちを集めて自己保全のための水泳を教えている。

らっしゃいます。「足が届き、温かくて透明なプールでいくら上手に泳げても、いざという時には何の役にも立たねんだて」と、茶色く濁った海水の中で、浮いたり潜ったり、お菓子を食べたり、傘を差したり、実に多様な活動を子供たちに与えています。

長年クロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの泳法指導をひたすらやり続けている私にとって、三沢先生が取り組んでいる活動はとても新鮮に映ります。4泳法を上手に、1秒でも速く泳ぐことだけを教えるのがスイミングクラブなのかという疑問はかねてから抱いていました。

そんな折、(一社)日本スイミングクラブ協会は、今年から「命を守る30分完泳」を推進することになりました。プールに塩を入れ、墨汁で濁らせることはできなくても、コースロープをはずしてグルグル泳ぐことならできます。これまでの「上手に速く泳ぐ」力に加えて「長く泳ぐ」力を高め、その泳力を全国統一基準で認定しようというものです。

三沢先生の活動には及びもしませんが、この「命を守る30分完泳」を通して、せめて上手に速く泳ぐことだけが水泳ではないことを、スイミングクラブに通ってくる子供たちには伝えてあげたいと思っています。

平成29年度の反省と 平成30年度の活動計画

競泳強化部 上野 幹夫

◎平成29年度の反省

1 通年の強化練習について

- ① 計画通りに強化練習を行い、全体的には成果が上がっている。しかしながら、県全体のレベルアップを考えると、平成29年度以上の練習時間の確保が必要である。
- ② 夏休みなど学校の長期休業中にも2部練習等効果的な練習を行うことができた。
- ③ 小学生、中学生、高校生とも新潟県の上位で活躍する選手が育ってきている。県チャンピオンシップでの優秀賞1名、全国JOC出場3名と大きな成果を上げることができた。

また、ワールドカップや国際大会出場を果たして、新たな挑戦の年となった。

- ④ 普及部からの選手勧誘を進めているが、人数が増えない。今後の大きな課題。

2 合宿について

平成29年度は合宿を行わず、5月連休と長期休業中に強化練習(2部練習)を行った。

泳ぎ込み等を行い、記録向上に成果を上げることができた。

【課題】

- ・コーチングスタッフの確保が困難。
- ・練習会場の確保が困難。(西海岸プールの早朝練習を希望しているが、困難な状況)
- ・スタッフの経費負担。

3 試合等について

(1) 試合数 1年間に15~20試合に参加。

(2) 年代別の成果

- ①高校生 北信越・県大会入賞、インターハイ・全国JOC出場、最優秀選手。
ワールドカップ2017東京大会出場、U17ドバイ国際大会出場。
新潟県高校記録更新。

②中学生 県大会入賞、北信越大会出場。

③小学生 BSN・NST大会入賞、全国JOC出場、最優秀選手。新潟県学童記録更新

(3) 県・全国ランキング 各年代でランキング入りした選手・種目数が増加している。

(4) 平成30年度も中学生から高校生までの各年代で活躍が期待できる。

4 今後の課題

- (1) 全国大会入賞に向けた強化選手の発掘・育成。
- (2) スイミングスクール、中・高体連等との合同練習。
- (3) 指導者の転勤等に関わる不安定要素の解消(安定したスタッフの確保)。
- (4) 練習場所の確保(特に合宿時)。
- (5) 選手の勧誘と育成(普及との連携強化)。

◎平成30年度活動方針(案)

1 通年の強化練習について

(1) 毎週火曜日~土曜日

17:30~21:00の時間帯で

*土曜日(午前)等を活用し、合宿練習

(2) (1)以外にも土日や長期休業中の強化練習を計画

(3) 中・高体連やスイミングスクールとの合同練習を計画

2 合宿等について

(1) 実施時期

5月連休、年末年始、通常の土日を使った強化合宿

(2) 場所

新潟市およびその近郊（練習場所確保が課題、西海岸プール利用希望）

3 試合について

(1) 参加する試合の選択

- ・大会のレベル・規模等を考慮して参加する。
- ・全国大会の出場を目標とするので、その予選会には全て参加する。

4 その他

- ・県水連との連携を図りながら活動を進めていく。
- ・普及部からの積極的な選手勧誘。
- ・コーチの確保に毎年苦慮している。選手の指導と仕事の両立が難しい。

<主な大会日程（日程は予定）>

月	大会名	月	大会名
4	29日ダッシュ新潟水泳大会	10	5日市中学総体(西海岸) 14日 県スプリント選手権(DP)
5	13日ミドルディスタンス選手権 23日 高校地区大会(西海岸)	11	23日新水協親善記録会(西海岸)
6	2・3日 県選手権・国体選考会(DP) 10日 県小学生選手権(西海岸) 18・19日 市中学(西海岸) 22~24日 県高校(上越)	12	9日 フリッパーズカップ(DP)
7	3・4日 中学地区(西海岸) 15日 NST選手権(西海岸) 20~22日 高校北信越(敦賀) 21・22日 県中学(DP)	1	13・14日 新年フェスティバル(西海岸) 20日 長岡新春(DP)
8	7日 北信越中学(金沢) 19日 BSN大会(DP) 17~20日 インハイ(愛知) 17~19日 全中(倉敷) 22~26日 全国JOC(東京辰巳) 26日新潟市民大会(西海岸)	2	2・3日 JO予選会(西海岸) 17日長岡室内選手権(DP) 24日チャンピオンシップ(DP)
9	15~17日 国体(金沢) 21日 県高校秋季(DP) 23日チャンピオンシップ(DP)	3	27~30日 全国JOC(東京辰巳)

*この他にも大会が入ることがある。

**日本泳法部の活動
29年度報告と30年度目標**

日本泳法部 松田 彰

◎平成29年度（2017）報告

① 泳法教室

春 秋 冬 各8回開催（於）西海岸プール

② 遠泳大会

7月17日 海の日 28名参加（内児童6名）

③ 第62回 日本泳法長野大会 遠征

泳法競技 金子裕貴 決勝進出 12位

資格審査 中野智美「教士」合格

同 「教士」1名「練士」2名 棄権

④ 29年度現在の有資格者14名は次の通り

範士：松田 彰

教士：福田舞子・中野智美

練士：水島恵子・杉澤葉子

游士：廣野久美子・大倉綾子・宮崎めぐみ

樗沢真吾・風間清美・佐藤文江

池田登喜子・山本裕子・渡邊涼子

◎平成30年度（2018）目標

*前年度並みに年3回の泳法教室及び「海の日」遠泳大会実施

*2018（平成30年度）第63回日本泳法鹿児島大会は見送り、2019年（平成31年度）秋田開催の第64回日本泳法大会を目指す

*8月市民大会「横泳ぎ競泳」出場を呼びかけて盛り上げたい

*泳法教室（公財）開発公社スポーツ教室

講師 松田

日時 土曜日13時30分～14時30分

春 4月14・21 5月12・19・26

6月9・16・23

秋 9月29 10月13・20・27

11月10・17・24 12月8

冬 1月12・19・26 2月9・16・23

3月9・16

日曜水泳教室

西海岸普及部 佐藤 貴美子

児童初心者水泳教室

西海岸プールの「児童初心者水泳教室」は、小学生を対象に日曜日の午前中に「水と仲良くなって、のびのびと泳げるようになること」を目指して、泳力別にクラス分けして有資格指導者11人が指導にあたっています。

子どもの「うまくなりたいと思う気持ち」と「伸びる力」を大切に……、水慣れクラスから始まった子が、友達と楽しそうにしている様子や、進級してちょっぴり大人びた態度になってきたのを見かけると、教室になじんできたのを感じます。水に慣れて来た頃に？予告なくゲンとうまくなる子どもたち、なかなかできなかつた平泳ぎのキック、本人も「できない！」と言い切るくらい苦手意識があったのに、ある日突然足がちゃんとかえている♡不思議！本人に家で練習して来たのかと聞くと、「してません」。本人が意識してやっているわけではないようですが、出来ているのでOK。「できてるよ。練習の成果が出たね」当たり前のような声でできた子に声をかけ「苦手なこともたくさん練習するとできるようになる」と、まだできない子にも伝えています。

水泳指導の他に、一般の利用者と同じ時間帯での利用もあり、集団であることで迷惑をかけないように、温かい目で見てもらえるように、団体での子どもの動きに気を配ることも欠かせません。時には一般利用者に「お騒がせしました」と挨拶することもあります。そのような場面も子どもたちが社会を経験する良い機会になっているのではないかと思います。1年生から6年生まで約100人、名前を知らない子同士が多いのですが、困っている子に声をかけたり、おとなを呼びに来てくれたりする自然な交流があるのも嬉しい場面です。

4月は新入生の数が多く、いつもとはちょっと違った緊張感があります。指導員一同準備をしながら、今年も子どもたちとの交流を楽しみにしています。

水泳教室

鳥屋野普及部 鈴木 輝明

現在、鳥屋野普及部は指導員11名、事務1名の総勢12名で、毎週日曜日の午前8時30分から9時30分までの1時間、幼児用プールを使用した「水慣れ」のクラスから個人メドレーの習得を目指すクラスまで、子供達のレベルに合わせて6つのクラスで指導を行っています。私は昨年度、個人メドレーの習得を目指すクラスを指導していました。毎週メニューを考えて臨むのですが、「一寸きついな？」と思うメニューでも、数回繰り返すと、あきらかに物足りない様子に変わります。泳いだら泳いだ分だけ泳力が伸びる子供達を見て、「自分もたまにはガッツリと泳いでみようかな？」などとできもしない事を考えながら、目立ち始めたお腹を摩りつつ、今日もプールへ出掛けていくのでした。



平成29年度の活動報告と 平成30年度の活動計画

シンクロ部新潟 大 串 真理子

◎平成29年の活動報告

① 強化練習

陸上トレーニングでの筋力強化と柔軟性の強化
水中での体幹及びスカーリングサポートの強化
競泳及びシンクロキックの強化

いずれも平日の練習時間では時間が足りず、土日の2部練習の時間が取れるときは何とか時間をかけて行っています。

② 合宿について

普段、時間をかけることが出来ない競泳を始め、シンクロの基本的なトレーニングに時間をかけました。

また、生活面では年齢の違う子が協力し合う良い機会になったと思います。

③ 大会結果

普及からあがったばかりの選手なのでこれからです。唯一、県外遠征の東京辰巳国際水泳場で行われる初心者からレベルの高い選手まで幅がある大会への出場も昨年はデビュー戦でもあり、泳ぐことで精一杯でしたが今年は2年目になりました。惜しくも表彰台は逃しましたが小学生6年ソロ4位、小学生デュエット7位、中学生デュエット8位と入賞しました。キックをしないでスカーリングのみで水上に高さを出して決められた姿勢を繋げていくフィギュア競技に挑戦する事によってルーティン(音楽に合わせて泳ぐ)も上達し、相乗効果が出ているので今後に期待します。



④ 普及

週1回から週2回と練習量が増えたことでシンクロでの技、フィギュアのレベルが上がりルーティンの中に取り入れるフィギュアや振り付けの内容が広がってきました。

11月にDPでおこなわれた発表会ではかつて小学



生の選手が泳いだチームのルーティンを現在の選手と普及の合同チーム、9人で挑戦しました。普及としては難しいフィギュアや振り付けが沢山入っていましたが頑張って選手と一緒に泳ぎました。

◎平成30年の活動計画

最初に長年、シンクロナイズドスイミングの名称で親しまれていましたがFINA(国際水泳連盟)からアーティスティックスイミングに昨年の秋に名称変更が決定され、4月から正式に変わります。

耳馴染みもなく、長すぎる名称をどうやって省略してよいやら、思いつきません。

① 強化練習

スピン、スラストの強化長年の悩みではありますが避けては通れない道で年々レベルアップしている中でやはり基本の中心軸のトレーニングの強化に尽きます。

② 合宿について

北信越大会に向けて参加種目の強化を目的とします。

③ 競技会

北信越大会の当番県なので昨年参加者がいなかった分、デビュー戦になりますが挑戦させたいと思います。

④ 普及



シンクロはリズム水泳から垂直姿勢で立てるようになるまで時間がかかるスポーツです。

低学年から始めることで3年生頃から育成、4年生で選手になるとかなりのところまで成績が残せるレベルにまで上達できます。

ここにきて新入会が思うように増えないので、エキシビションだけでなく、体験教室の開催も定期的に行ったほうがよいのですがコーチが不足しており、なかなか難しいところです。

ここにきて新入会が思うように増えないので、エキシビションだけでなく、体験教室の開催も定期的に行ったほうがよいのですがコーチが不足しており、なかなか難しいところです。

⑤ マスターズ

完全に同好会状態ですが普段、基本練習をしているばかりではつまらないので普段練習している内容を繋げてミニルーティンにして1つの作品として作り上げる楽しさを少しでも感じてほしいと思ってい



ます。しかし、コースでは止まらず、流れ続けなくてはいけないので脚を上げる練習はフリースペースで練習するのですが一般の方にはお邪魔な存在で年々、練習するのに気を使う状況です。

レディース部を想う

レディース部 田近 圭子

レディース部の歴史は長く、30年以上前に、当初は新潟市の主催する「女性水泳教室」から指導者として育ててもらい、リーダーとして市民の水泳愛好者を増やすという目的で作られた、全国でも珍しい組織です。

初めは西海岸と鳥屋野プールのみでしたが、今は下山、亀田、白根と指導の場が広がっています。現在はリタイア後の男性の姿も多くなり、教室の雰囲気も変わってきました。今でも、熱心な愛好者の中から、指導者を目指そうと頑張っている方もいます。

健康作りにプールが良いとの情報が広まり、近年はますます幅広い年齢の方が水泳教室にいらっしゃいます。私達も広い知識と工夫が必要だと感じながら日々努力を重ねています。初めて水泳を習われる方は、年齢に関係なく、できるようになった事を、子どもの様に喜んで下さいます。私達にとっても、嬉しい瞬間です。

自分が生徒として教わってきた事や経験を基本としながら、同じ目線で、ボランティアの暖かい気持ちで生徒さんに接することを常に心掛け、より良い指導ができるよう頑張っていきたいと思います。

HS部平成29年度活動報告書 平成30年度活動予定

HS部 野田 文江

◎平成29年度HS部活動報告

月日	活動内容	会場
H29年 5月28日(日)	第18回新潟県障がい者スポーツ大会予選	西海岸プール
6月18日(土)	第31回関東身体障がい者水泳大会	多摩障害者スポーツセンター
8月27日(日)	新潟市民水泳選手権大会	西海岸プール
9月2日(土) ～3日(日)	2017ジャパパラ水泳競技大会	東京辰巳国際水泳場
10月28日(土) ～30日(日)	第18回全国障がい者スポーツ大会	愛媛県
11月18日(土) ～19日(日)	第34回日本身体障がい者水泳大会	千葉県国際総合水泳場
H30年 2月25日(日)	29年度水泳記録会	ふれ愛プラザ
3月11日(日)	第19回サンアップル水泳大会	長野県サンアップル

◎平成30年度HS部活動予定

月日	活動内容	会場
H30年 5月27日(日)	第19回新潟県障がい者スポーツ大会予選	西海岸プール
6月17日(土)	第32回関東身体障がい者水泳選手権大会	埼玉県障がい者交流センター
8月26日(日)	新潟市民水泳選手権大会	西海岸プール
9月23日(土) ～24日(日)	2018ジャパパラ水泳選手権大会	横浜国際プール
10月13日(土) ～15日(日)	第19回全国障がい者スポーツ大会	福井県
12月1日(土) ～2日(日)	第35回日本パラ水泳選手権大会	鈴鹿スポーツ屋内プール(長水路)
H31年 2月24日(日)	30年度水泳記録会	ふれ愛プラザ
3月2日(土) ～3日(日)	2018年パラ水泳春季記録会	静岡
3月	第20回サンアップル水泳大会	長野



編集後記

今冬、平昌オリンピック、パラリンピックが開催されました。その熱い戦いや、そこに至るまでの積み重ねは、まさにドラマのようで、見ている人々に多くの感動を与えてくれました。

今年も、皆様のご活躍を応援しています！

S.A